



プンゲンストウヒ (コロラドトウヒ)

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 外来種



科名 マツ科トウヒ属 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い、針葉樹

銀青色の葉が特徴的で、円錐樹形が美しい人気のコニファー。寒冷地に多く植えられる。銀青色の鮮やかな園芸品種に①ホプシー：横枝を水平に伸ばす②コスター：横枝をやや下向きに伸ばす③モヘミー：新梢が青白いなどがある。実生での繁殖は、葉の色にばらつきが生じる。



Memo

園芸品種は、コロラドトウヒの台木に銀青色の鮮やかな樹（母樹）の新芽を接ぎ木して生産される。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期													
果 実													
紅 葉													
施 肥													
剪 定													

好みの環境			
日 当 り	陽	◎	陰
土 壌	乾	○ ○	湿
寒 さ	強	◎	弱
暑 さ	強	○	弱
潮 風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

陽樹であり日陰地で生育できない。円錐樹形を維持するには、排水の良い広いスペースが必要。植え込み直後は葉のワックスが取れ緑色になるが、根付くと美しい銀青色になる。定着後の移植は困難。

剪 定

日当りを確保し、通風と排水を良く保たないと葉の色が退色し、樹勢が衰えやすい。円錐樹形から飛び出た枝を切り戻し、混み入った枝を間引いて樹形を維持するとよい。

病虫害

本来、寒冷地に適応する樹。暖地では枝先に「シンクイムシ(マツノシンマダラメイガの幼虫)」の被害が出やすい。また、毛虫が発生することがあるので、防虫管理が欠かせない。